

	く し び き ま ち 櫛 引 町		〒997-0346 東田川郡閼引町大字上山添字文栄100番地		TEL 0235 (57) 2111		FAX 0235 (57) 2117		
			類 型	- 2	地域指定等	特豪 辺地 農工 拠点都市			
	地名 由来	藩政時代の通名による。					町 の 木、 花 柿 サルビア		
地 勢	庄内平野の南部に位置し、庄内、村山を結ぶ国道112号線に沿っており、町の中央を赤川が縦断している。東は月山の裾野の丘陵地であり、西側は田園地帯が広がっている。気候は、寒冷で雪が多く、夏冬の温度差が大きい。								
沿 革	昭和29年12月1日 閼引村設置(山添村、黒川村合併) 昭和31年1月1日鶴岡市勝福寺の一部(現在の三千刈合併) 昭和41年12月1日 町制施行								
区 分	人 口 (人)	世帯数(世帯)	高齢化率(%)	総 面 積		林野面積割合	可住地面積割合	D I D s 人 口(平成12年国調)	
昭 和 40 年 国 調	9,805	1,781	7.3	80.18km ² (県内36位)		48.0%	45.6%	- 人 (県内-位)	
昭 和 50 年 国 調	8,545	1,761	11.2	昼夜間人口比(平成12年国調)		88.1% (県内26位)	人口密度(平成12年国調)	106.5 人 / km ² (県内24位)	
昭 和 60 年 国 調	8,615	1,741	14.8	産業別就業人口(平成12年国調)			住民基本台帳人口(平成14年3月末)		有権者数 (平成14年6月2日)
平 成 2 年 国 調	8,722	1,765	17.8	第一次産業	924 人	22.8%	男	4,168 人	男 3,203 人
平 成 7 年 国 調	8,742	1,863	21.1	第二次産業	1,906	41.6	女	4,484	女 3,592
平 成 12 年 国 調	8,536	1,913	24.8	第三次産業	1,755	38.3	計	8,652	計 6,795
同 上 県 内 順 位	32位	36位	30位	計	4,586	100.0	出 生 率 (平成13年)		10.0‰(県内3位)
農業粗生産額(平成12年)	372 千万円 (県内22位)		製造品出荷額等(平成13年)		1,037 千万円 (県内27位)		年間商品販売額(平成11年)		771 千万円 (県内28位)
三 役	町 長 阿 部 千 昭 (任期 平成15年 2月 26日 3期目)				議 会	議 長 遠 藤 純 夫		党派別議員数(平成14年6月1日)	
	助 役 佐 藤 克 巳 (任期 平成15年 6月 9日 2期目)					副議長 菅 原 元		無 所 属 15 公 明 党 1 共 産 党 1	
						議員定数 15人 (法定定数 22人)		議員任期 平成15年4月30日	
行 政 組 織 機 構	町長—— 助役—— 総務課・企画課(情報センター)・住民課・福祉課・建設課・農政課				職員数 (平成14年4月1日)				
	—— 収入役—— 出納室				一般行政 72 人				
	—— 水道室				特別行政 18				
	議 会—— 事務局 農業委員会—— 事務局 公平委員会(委託)				公営企業等 11				
	教育委員会 —— 教育課 選挙管理委員会 —— 事務局 固定資産評価審査委員会				病 院 -				
	監査委員—— 事務局				水 道 2				
					その他 9				
				(平成14年4月1日) 合 計 101					
一部事務組合	山形県消防補償等組合(44市町村) 山形県自治会館管理組合(44市町村) 山形県市町村職員退職手当組合(9市31町村) 鶴岡市ほか六箇所衛生処理組合(1市6町村)								
加 入 状 況	山形県市町村交通災害共済組合(2市26町村) 東田川郡町村組合(7町村) 庄内広域行政組合(2市12町村) 鶴岡地区消防事務組合(1市6町村)								
協議会加入状況	庄内地区視聴覚教育協議会(2市12町村)								
財 産 区	——								
公社及び主要第三セクター	閼引町土地開発公社 (株)くしびきふるさと振興公社								
基本構想	閼引町基本構想 平成7年3月6日議決 計画期間 H8～17年度				基本計画	閼引町振興計画 平成7年12月6日 計画期間 H8～17年度			
	「豊かな創造力と活力で拓く産業、文化、福祉のまち」を目標として、7つの政策目標に基づき、町づくりを展開している。					・ 公共下水道事業(西部地区)			

行政方針等	(1)豊かな自然と調和した、快適な定住環境を築くこと。(5)総合文化産業としての観光を推進すること。					重点事業	・能の里黒川地区整備事業					
	(2)医療と福祉とを充実し、思いやりのある健康な地域社会を創造すること。						・南部児童館大規模改修事業					
	(3)ゆとりと文化性のある教育環境を創造し、人材を養成すること。						・丸岡城遺跡発掘調査事業					
	(4)旺盛な産業活動を通じ、町民所得の向上を図ること。											
	(6)集落自治を基本にコミュニティの形成をはかり、櫛引町の特色を生かした魅力ある郷土を築くこと。											
	(7)組織と財政の適正化、効率化をはかりつつ、町民の信頼に応える充実した行政運営を確立すること。											
都市宣言等		非核平和の町宣言										
特色ある条例		――										
姉妹・友好都市		――										
普通会計決算状況 (百万) (%)	区 分	歳入		地方税		地方譲与税	地方交付税	国支出金	県支出金	地方債	その他	
	11年度	5,917 (100.0)		660 (11.2)		62 (1.0)	2,417 (40.8)	709 (12.0)	435 (7.4)	877 (14.8)	757 (12.8)	
	12年度	5,202 (100.0)		625 (12.0)		64 (1.2)	2,312 (44.4)	234 (4.5)	381 (7.3)	717 (13.8)	869 (16.7)	
	13年度	4,544 (100.0)		640 (14.1)		64 (1.4)	2,242 (49.3)	146 (3.2)	269 (6.0)	470 (10.3)	713 (15.7)	
	区 分	歳出		人件費		物件費	扶助費	補助費等	普通建設事業費	公債費	その他	
	11年度	5,641 (100.0)		922 (16.3)		863 (15.3)	272 (4.8)	386 (6.8)	1,987 (35.2)	730 (12.9)	481 (8.5)	
	12年度	5,022 (100.0)		910 (18.1)		796 (15.9)	167 (3.3)	406 (8.1)	1,438 (28.6)	737 (14.7)	568 (11.3)	
	13年度	4,371 (100.0)		897 (20.5)		784 (18.0)	196 (4.5)	402 (9.2)	717 (16.4)	779 (17.8)	596 (13.6)	
	区 分	形式収支	実質収支	標準財政規模	地方債現在高	積立金現在高	実質収支比率	財政力指数	公債費比率	起債制限比率	経常収支比率	
	11年度	276	261	3,045	6,008	816	8.6	0.236	18.3	10.2	77.0	
	12年度	180	179	2,945	6,165	655	6.1	0.234	19.2	10.8	83.8	
	13年度	173	173	2,873	6,022	601	6.0	0.234	19.3	11.7	87.4	
	公共施設設備状況		道路延長	道路改良率	道路舗装率	永久橋比率	上水道普及率			下水道等普及率		し尿衛生処理率
133 km			94.5%	97.3%	100.0%	99.8%			93.7%		100.0%	44.2%
公営住宅等			公園	人口一人当り公園面積		病院	診療所	公民館	保育所	児童館	幼稚園	
-			29ヶ所	20.7㎡(行政区域内)		-	9ヶ所	1館	2ヶ所	3ヶ所	-	
小学校			中学校	高等学校	高専短大	大学						
4校			1校	1校	-	-						
行事・祭等		黒川能王祇祭 水焰の能 清正公祭 フルーツ祭 さくらんぼ祭 ほのか夏祭 スキー場冬まつり さくら祭 宝谷山菜きのご祭り 収穫感謝祭										
名所・旧跡等		丸岡城趾 加藤清正墓碑										
特産品・名物		しなべきうり 黒川能人形 くだもの 能小面 もち 地酒										
主要企業等		松文産業(株) 山形クラッチ(株) 山形レックス(株) 関引農工連 高嶋産業(株) 東北産業(株) (株)K・S・J										
郷土出身者		柏 戸(元横綱) 富樫 実(彫刻家)										
市町村振興協会 資金充当事業		赤川ヘルス&カルチャー整備事業(H元～3) つどいと安らぎの里整備事業(H5～6)										

櫛引町町政の現状・方針

第4次櫛引町振興計画

基本目標

主テーマ「“躍動” くしびき 三づくり」

イメージ

人づくり、町づくり、町土づくりで勢いよく活動するくしびきまち

サブテーマ

明日をきり拓く人づくりと文化の創造

社会全体の活力を醸成し、新しい価値を生み出すため、明日を切り拓く人材づくりを目指します。また心の豊かさが重要視される時代にあり、文化が地域のイメージをつくり、地域評価と名声の高揚にもつながることになるので、文化振興の条件づくりを進め、優れた文化を創造し、風格と魅力のある地域を目指します。

住みよく活力に満ちた住民主役の町づくり

農村における景観の創造や居住空間の整備、防災対策、環境衛生施設の整備、交通安全対策など、住みよい快適な生活環境の整備とともに、安心して暮らせる社会福祉の実現を目指します。町民の自主的な社会活動の展開を支援する一方、夫々の分野等で主体的な社会参加の機会を多くすることによって、住民主役による町づくりを目指します。

新世紀に向けて発展する町土づくり

霊峰月山と清流赤川にはぐくまれた、自然と歴史、四季折々の豊かな大地の恵みは、地域に住む者にとっての誇りであり、今に生きる私どもはその価値を高め、未来につないでいく責任があります。また産業活動の発展により町民の経済的豊かさを実現するとともに、多様な能力が発揮される環境づくりなどを進め、発展する町土づくりを目指します。

政策目標及び具体的項目

豊かな自然と調和した快適な定住環境を築くこと。

- ケーブルテレビ等地域情報化の広域的な推進
- 幹線道路、町道整備促進による広域的視点にたったのまちづくり
- 地域特性を活かした魅力ある定住環境の整備（住宅団地造成による広域的対応）
- 公共交通の整備確保による広域的対応

保健医療福祉を充実し思いやりのある健康な地域社会を創造すること。

- 保健医療福祉施設の広域的整備と活用
- 保健医療福祉施設計画の策定と見なおし
- 国保、老健、介護保険事業の推進

明日をきり拓く個性豊かな人づくりと魅力あふれる文化を創造すること。

- 少子化による児童館、保育園一本化の見直しと広域的施設の検討
- 新しい時代にたくましく生きていく青少年の広域的育成
- 文化施設等学習環境の総合的整備と広域的な活用の推進
- 生涯スポーツ、町民総スポーツの振興及び施設の広域的活用

旺盛な産業活動を通じ町民所得の向上をはかること。

- 水田営農の広域的な推進と確立
- 地域特性を活かした複合経営の推進
- 産直活動の発展と農産物への付加価値による農業総合産業化の推進
- 農業、農村の持続的発展をめざした農業生産組織、担い手の育成、確保

総合文化産業としての観光を推進すること。

- ライフスタイルの変化に対応した観光資源、情報の広域的整備、発信
- グリーン・ツーリズムを視点にした通年型、滞在型観光の広域的推進
- 櫛引町のトータルサイン計画による統一的でわかりやすい案内板等の年次的整備

住民参加の促進と交流をはかり住みよく活力に満ちた郷土を築くこと。

- 地域づくり組織の養成及び地域リーダーの育成
- 住民参加による創造性豊かな活力ある地域づくりの推進
- ボランティア活動の推進
- 都市農村等交流による地域づくりの推進

組織と財政の適正化、効率化をはかりつつ、町民の信頼に応え

うる充実した行政運営を確立すること。

- 簡素にして効率的な行政組織の整備
- 行政改革の推進
- 財政の健全化と効率運用

広域関連事業の推進と近隣市町村との連帯強調を強化すること。

- 市町村合併による広域的なまちづくりの推進

櫛引町の特徴的なまちづくり事業

地域の特性・資源・新市における期待・役割

1. フルーツタウンの推進によるまちづくり

- (1) 農産物直売施設「産直めぐり」等の充実及びイベント支援
- (2) 観光果樹村はじめ観光受入の拡大と体制等のネットワーク化推進

2. グリーン・ツーリズムの推進による中山間地域の活性化

- (1) 山、川の自然資源や農業体験を通したグリーン・ツーリズムの推進
- (2) 滞在型宿泊施設「ふるさとむら宝谷」、「ほのか埴代」の運営充実

3. 通年観光推進によるまちづくり

- (1) 温泉、スキー場、黒川能伝習館、清正公等地域の資源、歴史、文化等を有機的に連携した観光の推進
- (2) 産直施設、滞在型宿泊施設の連携による自然景観、味覚等を活用した観光の推進

4. 都市農村交流の推進による交流人口の拡大

- (1) 首都圏櫛引会、関西櫛引会、宮城櫛引会等の活動支援による都市との交流促進
- (2) 産直販売による都市農村交流及び修学旅行受入、訪問等相互交流の推進

5. 歴史、伝統文化の保存伝承・遺蹟顕彰によるまちづくり

- (1) 国の重要無形民俗文化財「黒川能」の保存伝承及び仮称「王祇会館」等黒川能の里整備と運営充実
- (2) 「丸岡城址・清正公」遺蹟顕彰と柏戸記念館の整備による横綱柏戸・鏡山親方の顕彰

6. 住民参加によるまちづくりとコミュニティの形成

- (1) 集落自治振興と生涯学習の推進
- (2) 住民の自主的な社会活動の充実と地域リーダーの育成

7. 地域情報化ネットワーク事業の推進

- (1) 新世代ケーブルテレビ・地域イントラネット等の広域的な推進

櫛引町の特徴的なまちづくり事業

具体的内容

１．フルーツタウンの推進によるまちづくり

（１）農産物直売施設「産直めぐり」等の充実及びイベント支援

櫛引町の特色である果物を活かしたフルーツタウンの推進によるまちづくりを行なう。

櫛引は昔から果樹栽培が盛んに行われ、年間を通して多種多様な果樹が栽培されており、庄内地方を代表する果物の生産地になっている。中でも、西荒屋のぶどう栽培は、今から２５０年ほど前から行われていたもので、全国でも珍しい甲州ぶどうも栽培されている。

町ではフルーツタウン構想を掲げ、その拠点施設として直売施設の整備を進め、平成９年９月に「産直めぐり」をオープンした。新鮮な果物、野菜、花卉や加工品などが消費者に喜ばれ年々売上を伸ばすなど、県内はじめ東北地方においても有数の直売所となり多くのお客さんが訪れている。

町内農家９０名が組合を組織し運営を行っており、その取り組みは農業を含めた地域全体の活性化に大きく貢献をしている。

農産物の生産から加工、農村レストランでの食材供給、販売と農業の総合産業化を目指す。

直売所における農産加工への取り組みは、年間を通した安定販売のためには必須条件である。農産物の付加価値を高め有利販売のできる加工活動の必要性など機運も高まり、平成１１年１１月に加工施設が整備された。また、平成１２年１１月には産直野菜を活用した農家レストランがオープンした。特に活動の主体となる女性の力を十分生かしながら、生産から加工、販売へと農産物の高度効率化へ向けた農業の活性化を目指す。

「産直めぐり」を拠点にしたイベント支援による櫛引町の情報発信とともに、地域における賑わいと活性化を促進する。

年間を通した積極的なイベント開催が売上実績とともに、地域の交流人口の増大につながっている。また町内のグリーン・ツーリズムの拠点施設である「ほのか埴代」、「ふるさとむら宝谷」との連携や施設を提供し、フルーツ祭り等年間多くのイベントを開催するなど、地域住民や庄内全体の交流の場として、地域の活性化に大きく貢献をしている。組合員や町全体の盛り上が

りなど相乗効果の多いイベントを通した活性化をはかっていく。

(2) 観光果樹村はじめ観光受入の拡大と体制等のネットワーク化推進

観光果樹村を拠点にした櫛引PAとの連携による高速道路利用者の誘客と町内の観光果樹園全体への波及効果をはかる。

櫛引町には初夏のさくらんぼから始まりぶどう、和なし、洋なし、りんご、庄内柿など多くのフルーツが栽培されている。観光果樹園も町内に数箇所あり運営を行っているが、平成14年6月には高速道路櫛引PAの関連で整備をした「観光果樹村」がオープンをした。これらを基点とした高速利用者の誘客と観光果樹のネットワーク化を進めるなど、町全体の観光果樹のイメージアップをはかっていく。

またさくらんぼの里としての生産拡大と施設整備を行うとともに、観光果樹のシンボルの役割を担うなど充実をはかる。

2. グリーン・ツーリズムの推進による中山間地域の活性化

(1) 山、川の自然資源や農業体験を通したグリーン・ツーリズムの推進

恵まれた景観や山・川等の自然資源、農業資源を活かしたグリーン・ツーリズムを推進し中山間地域の活性化をはかる。

町には「ほのか農園」、「あぐり農園」、「上山添農園」などがあり町内外から多くの方が、野菜づくりやうどのオーナーとなって農業体験を楽しんでいる。また、都市部からも修学旅行児童が訪れて、芋掘りやそば打ちを体験しながら地元の子供たちと交流を深めている。今後はフルーツの特徴を活かした果物のオーナーも含めた農業体験の拡大をはかる。さらに最近都市部から急増しているアユ釣りや釣りの情報や遊魚券、おとりアユの取扱所など環境整備とともに、滞在型宿泊施設との連携の中で誘客の促進をはかる。

(2) 滞在型施設「ふるさとむら宝谷」、「ほのか埴代」の運営充実

宝谷そばやふれあいきのか園などの特徴を活かした、グリーン・ツーリズムの展開により宝谷地区の活性化をはかる。

宝谷地区は月山山麓の中山間地域にあり、53戸の集落が33戸まで減るなど過疎化が進み、危機感から立ち上がり平成2年に「ふれあいきのか園」を開設した。しいたけオーナー会員は首都圏も含めて、200名を越しており、毎年春の山菜きのか祭りや秋の収穫祭りで交流を深めてきた。

平成10年5月、「ふるさとむら宝谷」がオープン、宿泊は25名で、近くの丘にはふれあい広場があり、キャンプや交流イベントもできる。集落全体

で運営組合を組織し、宿泊や日帰り利用客の体験指導やイベント、調理当番などのお世話をしながら運営に当たっている。そば打ち体験は人気を呼び、平成11年4月には「宝谷そば」がオープンした。宝谷の豊かな自然に育まれたそばが「ひきたて、うちたて、ゆでたて」で提供され、平成13年度には、全国そばづくり表彰を受賞するなど活動の励みになっている。施設は町が整備し、集落をあげて取り組みを行う公設民営方式であり、特に女性が参加する元気のある活動を今後も支援し地域の活性化をはかる。

たらのきだいスキー場や体験農園、森林など豊かな自然環境を活かしたグリーン・ツーリズムの展開により埴代地区の活性化をはかる。

埴代地区は宝谷集落に隣接する世帯数66戸の集落で、昭和54年に開設されたファミリースキー場がある。リフトは町直営で、ロッジは地元住民で組織をつくり運営をしてきた。その実績の基に平成11年12月に宿泊型の農林漁業体験施設「ほのか埴代」をオープンし、冬季間以外にも誘客をしようと、集落全体で運営組合を設立し、グリーン・ツーリズム事業に取り組んでいる。43名の宿泊が可能で年間を通した自然の恵みと、手作りの花や写真、絵などを展示しながら温かく迎えている。埴代は絵本作家・土田義晴さんの絵本の舞台にもなっており、地域資源の活用や雇用対策等町全体の活性化に大きく貢献しており、今後も新市におけるスキー場のネットワーク化による誘客の促進をはかるなど、年間を通した活動の充実をはかる。

3．通年観光推進によるまちづくり

(1) 温泉、スキー場、王祇会館、清正公等地域の資源、歴史、文化等を有機的に連携した観光の推進

町の温泉施設は平成3年12月にオープンし、固定客も含めて多くの利用者がいる。その後隣接市町村での温泉建設が続いたため利用者が減ったが、昨年のリニューアルオープン後は大幅な増になっている。健康志向が強い社会にあっては大切な施設として愛好されており、新たなコミュニケーションの場にもなっている。合併後の温泉ネットワーク化によりイメージアップをはかり利用客の増大を目指す。

たらのきだいスキー場は昭和54年にオープンし、温泉とともに観光の大きな目玉となっている。ナイターなど庄内一円から明かりが見えるスキー場として年々利用客が増えている。合併後のスキー場のネットワーク化による誘客促進とともに「ほのか埴代」を拠点にしたグリーン・ツーリズムの推進

により年間を通した観光を推進する。

毎年２月の王祇祭や夏に総合運動公園の水上野外ステージで演能される水焰の能などには多くの黒川能の愛好者が県内外より訪れている。仮称「王祇会館」整備による黒川能等の充実や、広域的な文化資源とのネットワーク化をはかりながら、歴史、文化資源を活用したまちづくりを進める。

- (２) 産直施設、滞在型宿泊施設の連携による自然景観、味覚等を活用した観光の推進。

直売施設の利用者は年間４４万人を超えている。また抱代や宝谷を訪れる人も多く、その中には首都圏や仙台圏からのお客さんも含まれている。各施設の特徴を活かした相互のイベント協力や組み合わせによる観光者の利用促進をはかる。

４．都市農村交流の推進による交流人口の拡大

- (１) 首都圏櫛引会、関西櫛引会、宮城櫛引会等の活動支援による都市との交流促進

櫛引出身の首都圏櫛引会の活動が、来年度には発足２０周年を迎え、総会やふるさとを訪ねる会、会報発行など、また都市部における産直販売への協力など活発な活動を行っている。関西櫛引会も発足３年目を迎え軌道にのりつつある。宮城櫛引会は今年８月に発足をし、総会の他仙台における産直販売の協力を行っている。今後さらに相互の情報交換を行いながら都市部との重要なパイプ役として活動支援をはかる。

- (２) 産直販売による都市農村交流及び修学旅行等受入、訪問等による相互交流の推進

首都圏櫛引会の力添えをいただき、「産直めぐり」が神楽坂の秋のイベントに参加し、産直販売を中心に交流を行っている。平成１３年度、１４年度は地元の期待に応え、産直めぐりはじめ、ＪＡ庄内たがわ、櫛引農工連、もち工房等と一緒に５月～１２月まで産直販売を実施し、秋のイベントでは食の文化フォーラムを神楽坂まちづくりのスタッフと共催するなど、農産物の販路拡大とともに文化交流等の都市農村交流を行っている。産直販売や修学旅行受入、訪問を通した都市農村交流を推進しながら、農村の活性化をはかる。

５．歴史、伝統文化の保存伝承・遺跡顕彰によるまちづくり

（１）国の重要無形民俗文化財「黒川能」の保存伝承及び仮称「王祇会館」等黒川能の里整備と運営充実

黒川能は春日神社の神事能として、すべて氏子たちの手によって５００年の間守り伝えられてきた。昭和５１年には国の重要無形民俗文化財に指定され、生活に根ざした貴重な民俗芸能として全国から注目を集めている。地域の活力源として「黒川能」の保存伝承活動や「水焰の能」等のイベント事業の支援を行う。

また県が事業主体により、平成１４年度黒川能の里整備の拠点施設として仮称「王祇会館」の建設が行われ、平成１５年度開催される国民文化祭の会場にも予定されている。黒川能のさらなる発展と施設運営の充実をはかるとともに、新市における歴史、伝統文化の情報発信や公開活動等シンボリック役割を目指す。

（２）「丸岡城址・清正公」遺跡顕彰と柏戸記念館の整備による横綱柏戸・鏡山親方の顕彰

櫛引町丸岡の天澤寺は、戦国時代の勇将・加藤清正公・忠廣公ゆかりの地として知られている。丸岡地区では昭和４０年より地域住民により遺跡顕彰会を組織し、保存活動を行ってきた。また今年度より観光ボランティアの養成を進めながら環境の整備とともに、歴史的価値のある遺跡の顕彰を行う。

また櫛引町の出身、第４７代横綱柏戸は、柏鵬時代を築き当時の相撲ファンを大いに沸かせた。「柏戸記念館」は、鏡山部屋の稽古土俵と上がり座敷を移築し、伝統的な造りを復元する。また、取組の映像や大相撲に関する貴重な資料なども展示するとともに、柏戸と同郷で彫刻家として活躍中の富樫実さんや、鶴岡出身の立行事第２８代木村庄之助さんについても、柏戸との交流を含めて紹介しながら顕彰活動を行う。

６．住民参加によるまちづくりとコミュニティの形成

（１）集落自治振興と生涯学習の推進

地区区長や公民館長を中心に行われてきた地域づくりは、本町の特徴的な集落自治振興として実績をあげてきた。これからのまちづくり推進のためのコミュニティ施設整備や組織の強化と住民が参加・交流ができる環境を整備し集落自治を振興するとともに、地域づくりを促進するための生涯学習の振興をはかる。

（２）住民の自主的な社会活動の充実と地域リーダーの育成

まちづくりを進めるために、住民のボランティア活動や趣味等生きがい活動を推進し、地域活動や社会活動など地域住民の自主的な活動の充実をはかるとともに地域リーダーの育成をはかる。

７．地域情報化ネットワーク事業の推進

（１）新世代ケーブルテレビ・地域イントラネット等の広域的な推進

櫛引町では既にＣＡＴＶ網の基盤が整備され、コミュニティ情報がきめ細かく提供されて住民参加等活力あるまちづくりに大きく役立っており、さらにデジタル化等高度化への取組が行われている。また他市町村においても、地域イントラネットなど公共施設間情報網整備の取組が行われている。

これらの動きをスケールメリットを活かして加速させ、高度化し共有化効率化するためには、庄内南部地区合併による新市を先端情報都市と位置付け、市域すべての市民や企業が情報網を活用できるための放送と通信が融合した、高速大容量かつ双方向の高度情報基盤を早期に整備する必要がある。

このことにより、行政手続きの電子化、生活関連情報の提供、双方向・即時性を活かした医療、福祉サービス、教育、さらには先端情報産業の起業・誘致など多様な分野において活用され、地域が活性化される。新市の行政機構であるサテライト方式の効率的な運営や、合併市の行政エリア拡大による中心部と周辺部の格差懸念解消のためにも、地域情報ネットワークの整備は肝要であり、コミュニティの再構築の上でも重要な要素となりうる。

櫛 引 町



平成14年12月26日

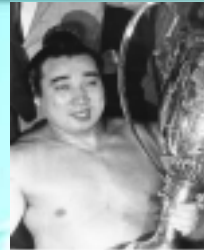
櫛引の名称の由来

櫛引の名の由来は、昔この一帯を櫛引郷と称していたことによります。吉祥寺縁起には、大梵寺城主武藤持氏公の病氣平癒を願い家臣、領民がまるで櫛の歯を引くがごとく街道を往来したと記されています。

櫛引町の人材

第47代横綱 柏戸（山形県県民栄誉賞）

「故郷の豊かな自然環境は、どんな時でも前向きに物事を考える僕の性格を育んでくれました。故郷の人々、自然は僕の相撲の恩師であり、原点なのです。」



富樫 実（彫刻家 京都府文化功労者）
役場庁舎に多数の彫刻を寄贈

「美術館や展示室に飾られるよりは、広く町民の方々の生活にとけ込んでもらいたい。」

櫛引町の特徴

持ち家率が県内トップ

櫛引町 98.3%

県平均 75.8%



三世代同居率が極めて高い

櫛引町 55.5%

県平均 28.1%



町の沿革及び地勢

沿革

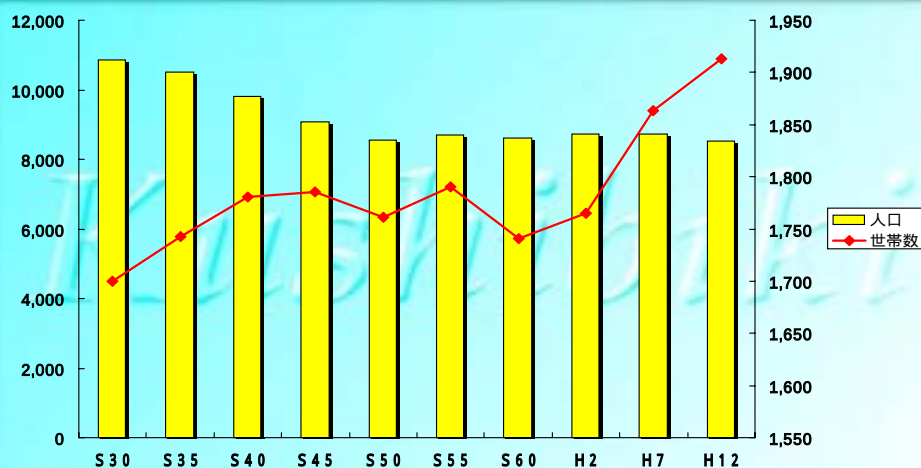
昭和29年12月1日 旧山添村と黒川村が合併し櫛引村が誕生
 昭和31年 1月1日 鶴岡市勝福寺の一部を編入
 下山添小鷹地区を鶴岡市に編入
 昭和41年12月1日 町制施行

地勢

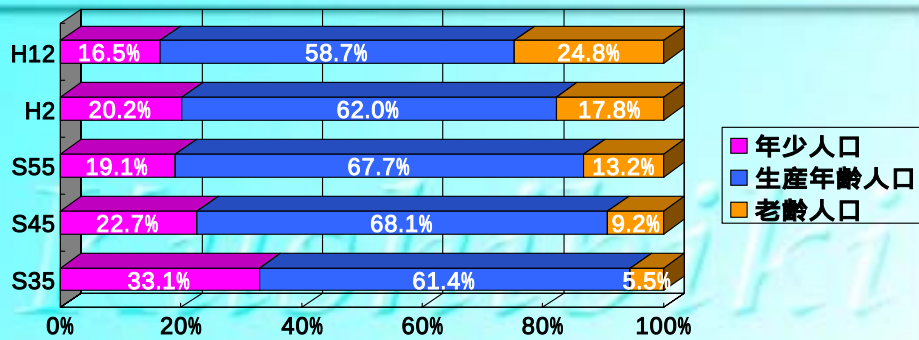
面積 80.18 km²
 町の中央を一級河川赤川が縦貫
 東部は月山の裾野の丘陵地。
 西部は平坦な田園地帯



人口の推移

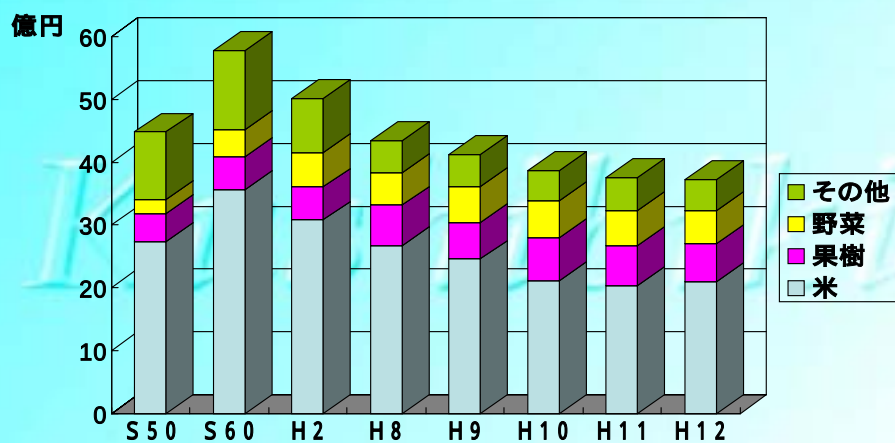


年齢別人口構造の推移

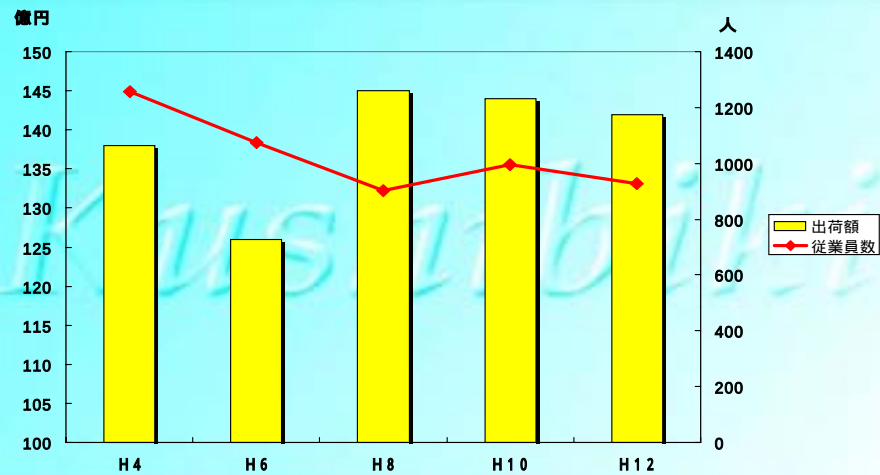


	S 3 5	S 4 5	S 5 5	H 2	H 1 2
年 少 人 口	3,474	2,058	1,660	1,763	1,407
生 産 年 齢 人 口	6,455	6,174	5,881	5,406	5,013
老 齢 人 口	576	837	1,149	1,553	2,116
総 数	10,505	9,069	8,690	8,722	8,536

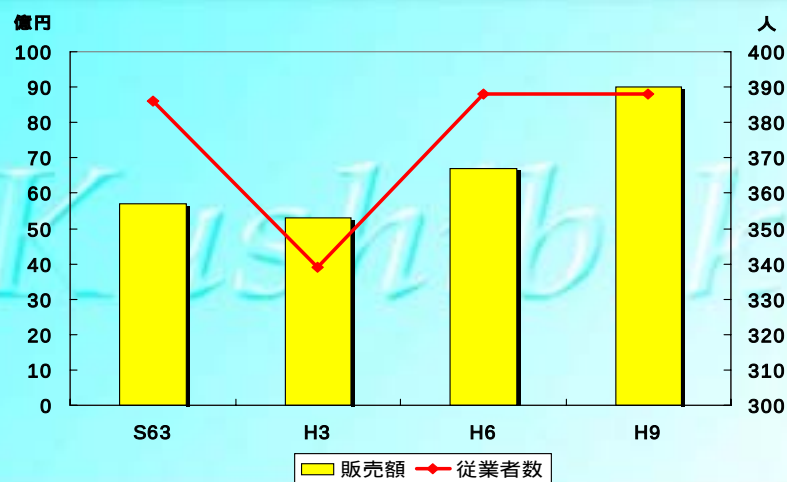
農業粗生産額の推移



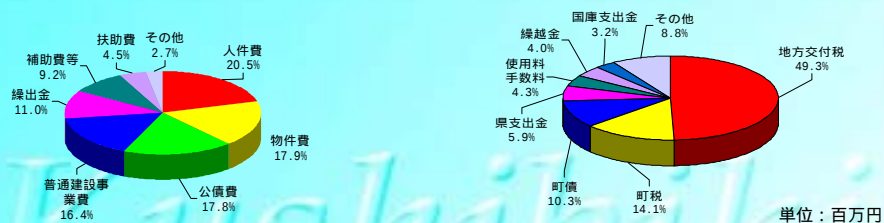
工業出荷額の推移



商業販売額



財政状況 (平成13年度決算)



地 方 交付税	町 税	町 債	県支出金	使用料 手数料	繰越金	国 庫 支出金	その他	歳入計
2,242	640	470	269	197	180	146	400	4,544
人件費	物件費	公債費	普通建設 事業費	繰出金	補助費等	扶助費	その他	歳出計
897	784	779	717	479	402	197	116	4,371
財政力指数	公債費比率	起債制限比率	経常収支比率					
0.234	19.3	11.7	84.8					

櫛引町の総合計画

まちづくりの基本理念

櫛引町は霊峰月山と清流赤川にはぐくまれ、伝統文化を誇る産業の町です。わたしたちは、まちの繁栄を願い未来に向かって躍進します。

- ✚ 視野をひろめ、心豊かな町民になります
- ✚ 健康ではたらき、明るい家庭をつくります
- ✚ 環境をととのえ、美しい町にします

町づくりの基本テーマ

“ 躍動 ” くしびき 三づくり

人づくり、町づくり、町土づくりで
勢いよく活動するくしびきまち

- 明日をきり拓く人づくりと文化の創造
- 住みよく活力に満ちた住民主役の町づくり
- 未来に向けて発展する町土づくり

櫛引町の総合計画

政策目標

豊かな自然と調和した快適な定住環境を築くこと

保健医療福祉を充実し思いやりのある健康な地域社会を創造すること

明日をきり拓く個性豊かな人づくりと魅力あふれる文化を創造すること

旺盛な産業活動を通じ町民所得の向上をはかること

櫛引町の総合計画

政策目標

総合文化産業としての観光を推進すること

住民参加の促進と交流をはかり住みよく活力に満ちた郷土を築くこと

組織と財政の適正化、効率化をはかりつつ、町民の信頼に応えうる充実した行政運営を確立すること

広域関連事業の推進と近隣市町村との連帯協調を強化すること

豊かな自然と調和した快適な定住環境を築くこと。



- 快適な町づくり
- 安心できる町づくり
- 景観の美しいまちづくり
- 町土の保全と秩序ある土地利用

- 地域特性を生かした魅力ある定住環境の整備
- 幹線道路・町道の整備
- 克雪町づくりの推進
- 農村型下水道の整備



保健医療福祉を充実し思うやりのある 健康な地域社会を創造すること



- 児童保健・福祉の推進
- 母子福祉の推進
- 障害（児）者の福祉の推進
- 男女共同参画社会の構築

- 保健衛生水準の向上
- 医療の充実
- 老人保健・福祉の充実



明日をきり拓く個性豊かな人づくりと 魅力あふれる文化を創造すること



- 幼児教育の充実
- 学校教育の充実

- 生涯学習(教育)の振興
- 伝統文化活動の充実
- 生涯スポーツの振興



旺盛な産業活動を通じ町民所得の向上をはかること



- 農業の振興
- 農業生産技術革新
- 農業生産基盤の整備
- 農業経営の効率化
- 林業の振興

- 工業の振興
- 商業の振興
- 雇用と労働環境の整備



総合文化産業としての観光を推進すること



- ライフスタイルの変化に対応した施設基盤の開発整備
- 通年型観光の推進
- 誘客と宣伝活動の強化
- 広域観光の推進



住民参加の促進と交流をはかり
住みよく活力に満ちた郷土を築くこと



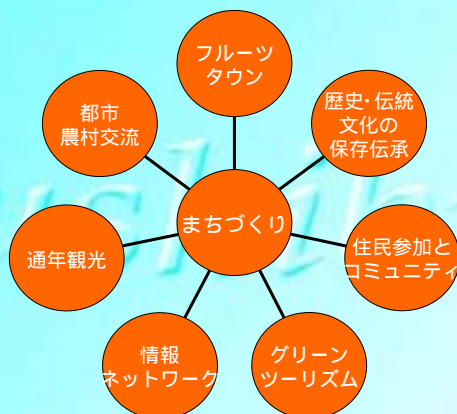
- 地域づくり組織の養成及び地域リーダーの育成
- 住民参加による創造性豊かな地域づくりの推進
- コミュニティ施設・設備の整備
- ボランティア活動の推進
- 交流による地域づくり

組織と財政の適正化、効率化をはかりつつ市民の信頼に
応えうる充実した行政運営を確立すること



- 簡素にして効率的な行政組織
- 少数精鋭による行政サービス
- 財政の健全化と効率運用

特徴的なまちづくり



フルーツタウン (産直あぐり)



- フルーツタウン構想拠点施設として平成9年9月オープン

- 新鮮な果物、野菜、花卉、加工品
- 町内90名の農家で運営



フルーツタウン (産直あぐり 加工施設・レストラン)



- 加工施設
 - ・平成11年11月オープン
 - ・高付加価値の農産物



- 食彩あぐり
 - ・平成12年11月オープン
 - ・農家レストランでの食材提供
 - ・地域食材活用のバイキング料理
 - ・組合員グループによる郷土料理
 - ・農業の総合産業化に向けて開設

フルーツタウン (産直あぐり イベント)



- 地域との連携による多彩なイベント開催
- 櫛引町からの情報発信
- 地域の賑わいと活性化



- 山菜・孟宗まつり
- さくらんぼ祭り
- フルーツ祭り
- お客様感謝デー

フルーツタウン (観光果樹村 オープン)



- 観光果樹村
 - ・平成14年6月オープン
 - ・櫛引PAとの連携による誘客
- ・ 6月～7月 さくらんぼ
- ・ 8月～10月 ぶどう
- ・ 9月～10月 和なし

フルーツタウン (さくらんぼ狩り 西片屋等)



- 庄内平野では唯一の観光さくらんぼ園
- 西片屋のさくらんぼは、昭和30年代から栽培
- 初夏の味覚
- 小さな恋人 さくらんぼ
- もぎたての新鮮な食感

グリーン・ツーリズム (山・川の自然資源・農業体験・あゆ友釣り)



- 櫛引の農園をお貸しします
 - ・ ほのか農園
 - ・ あぐり農園
 - ・ 上山添農園



- あゆ釣りでにぎわう赤川

グリーン・ツーリズム (宿泊施設ふるさとむら宝谷 そば打ち体験)



- 平成 2 年 ふれあいきのこと園開園
- 平成 1 0 年 ふるさとむら宝谷
- 平成 1 1 年 宝谷そばオープン

- 宝谷の豊かな自然に育まれた蕎麦
挽きたて・打ち立て・茹でたて



グリーン・ツーリズム (宿泊施設 ほのかたらのきだい)



- 代は土田義晴さんの絵本の舞台



- 昭和 5 4 年スキー場オープン
- 平成 1 1 年「ほのか・代」オープン
- 平成 1 2 年うどオーナー園オープン
- 平成 1 2 年ふれあい体験農園整備
- うど、わらび、ふき、ぜんまい、
ハーブ等平成 1 5 年オープン予定

通年観光 (温泉 ゆ～Town)



- 平成3年オープン
- 地下1,300mの温泉水
- 源泉100%あったまりの湯

- 平成13年7月リニューアルオープン
- 利用者

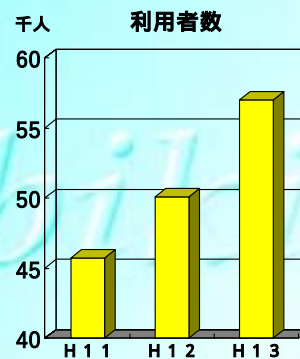
H11	151,612人
H12	149,722人
H13	172,416人



通年観光 (スキー場)



- 昭和54年オープン
- 庄内一円から見えるナイター照明



通年観光 (黒川能)



- 真夏の夜を彩る薪能「水焰の能」
- 水上野外ステージでの幽玄の舞
- 来年は開催20周年

- 毎年2月下旬に春日神社で開催される蠟燭能



都市農村交流 (各地の櫛引会)



- 首都圏櫛引会 (S 5 7 設立)
- 関西櫛引会 (H 1 2 設立)
- 宮城櫛引会 (H 1 4 設立)



都市農村交流 (産直販売・修学旅行受け入れ)



- 神楽坂産直販売
- 11年・12年秋のイベント参加
- 13年度は5月～12月まで21回実施
(平成10年神楽坂の有志による櫛引町訪問交流がきっかけ)
- 横浜市立青木小学校修学旅行受け入れ、ホームステイ・農業体験・児童の交流
(J A 青年部の学校訪問がきっかけ)
- 地元小学校も横浜へ修学旅行で訪問

歴史・文化伝統 (黒川能・王祇祭)



大地踏



豆腐焼き

歴史・文化伝統
(黒川能の里・王祇会館)

『いにしへの夢物語が誘う・・・能の里黒川』



歴史・文化伝統
(丸岡城跡・清正公)

知・仁・勇を備えた名将
加藤家終焉の地丸岡 天澤寺
遺跡の保存・顕彰と観光ボランティア



住民参加 (生涯学習)

町民憲章を基本として

合言葉 『 よくあそび よくまなび 』



- 具体的目標
 - ・生涯学習の啓発と普及
 - ・生涯教育推進体制の整備と充実
 - ・学社連携、融合の検討と推進
 - ・自主的学習サークルの育成と援助、指導

住民参加 (集落自治振興)

地域活動の振興・自主活動の育成

- ポイント
 - ・地域リーダーの育成
 - ・生活環境の整備
 - ・自主活動の支援
 - ・青少年、女性活動の育成
 - ・コミュニティ施設・設備の整備



住民参加 (自主的社会活動)

キーワード

『地域・まちづくりと男女共同参画の推進』

- ボランティア活動の推進
- 美しいまちと創造性豊かな地域づくりの促進
- 女性活動の推進と男女共同参画の普及啓発



ケーブルテレビジョンの概要

- 加入率 89 %
- 自主放送 2 ch、NHK 4 ch、民放4ch
- 文字情報
- 音声放送



年代を問わず親しみやすいメディア
コミュニティ情報をきめ細かく提供



ケーブルテレビの広域ネットワーク化

C A T V 網の広域化

- 身近で誰もが簡単に



- 条件不利地域を解消し
均一なサービスの実現

ケーブルテレビ広域化の効果

- 誰もが簡単に必要な情報を
- ライフスタイルに合ったメディアの選択肢
- 情報過疎地域の解消
- 地域の情報をきめ細かに



新市の市民としての帰属意識・一体感の醸成

櫛 引 町



平成14年12月26日